

夏期における水難・山岳遭難の防止 ～ 海・山・川を安全に楽しもう！ ～

【 地域課 】

水辺の事故にご注意！

水難事故について、令和6年は9件10人(死亡3人)、令和7年は18件19人(死亡10人)と増加傾向でした。今年は4月末時点で2件2人(死亡1人)の発生となっています。過去10年間では、約半数の方が貯水池・河川への不用意な立入り、海等での転落などで亡くなっておりまゝす。水辺の事故は、命にかかわる重大事故につながります。「水の怖さ」を再認識し、安全最優先の行動をお願いします。

子どもを水難事故から守るには

- 1 海や川、ため池など、子どもだけで遊ばせない。
- 2 水辺では、子どもから絶対に目を離さない。
- 3 危険な場所に近づかないよう指導する。
- 4 ライフジャケットを着用する。
- 5 大人が手本を示し、危険な場所で水遊びなどを行っている子どもには注意する。
- 6 海では、離岸流や急な深みに注意し、遊泳禁止区域には入らない。



夏山遭難にご注意！

1 低山や里山での遭難が増加

行き慣れた山こそ「**油断大敵**」、家族などに行き先や帰宅予定時間を、あらかじめ伝えておきましょう。

2 熱中症、脱水症に注意

熱中症は、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温の調節機能がうまく働かないなどが原因で起こります。熱中症予防のため、のどが渇いていなくても、早め早めの水分補給を心がけましょう。

3 中高年の遭難が増えています

近年全国的に、中高年の山岳遭難が増加しています。その多くは、不十分な装備、知識・経験・体力の不足などが原因で発生しています。

山を楽しむため、登山届の作成提出、通信手段の確保に心がけましょう。



【登山届の提出方法】～登山の第一歩は登山届の提出です！～

★ 詳しくは県警webサイト「登山届の提出方法」を確認して下さい

- 警察本部(山を管轄する警察本部)への電子メール・郵送・FAX
- 警察機関(山を管轄する警察署・交番・駐在所)への提出
- 登山ポスト・・・登る山の登山ポストへ投函
- スマートフォン・パソコンなどを使用した登山届の作成・提出

宮城県警察では、**登山届受理システム「コンパス」**及び**登山地図GPSアプリ「YAMAP」**を利用し、登山届の作成、提出をすることができます。

